

婚題意上人諸國行化傳卷之三目錄 幣随院建立了事 山妻ノ死霊得脱ノ事 身代名号人事 名号ラ新乳ノ出心事 勝名かに目を

板橋ノ海魂ラ教化シエア事かり連歌ノ事

熊谷寺建立了事

思見ラ降伏し思人了化度し給了事

識が名号語雨現盤ノ事法論ノ称美ラ得給ノ事

夏下方與川麓川殿立方食夏モ更三日之今久何三 う機物三モ男女人盛シキ物部リナト間テ人他所 金世の文金立と八地出い五年不具た八名任に 隨意上人話國行化傳卷三 世界な死野神殿と見 一時付人妻世人三勝レテ族が深かでか

八朋友一家ノ産別了人走り行テ思いと取る人故三諸

路路の路路という

タニ言葉ラカクレハ恨ミテ思 Pも近悲ムが猫トスつ

**圧近寄い夏有レい恨る悪い若心失他三行元夜入し** 

况や我夫三格氣スル夏言語ノ及フ所三非ス適々他

ð.

計リ三項り替うていいアラセノ大力大格氣嫉死 嫌いしとダナン八部ラ便りトスルモノモナク春日通三一間 ラ借り記むり供居ケリ夫ハ又異方色好キラ迎へ陸 々トコレラステナナリニケル比女去ラレテ後熱テ皆人忌さ ラ見テ如何た人/妻ナラント人三問へ像/人アレコン乳から子ラ抱カゼをヨキ小神ラ者 一通ルタ有り先妻是 人正三思を練に此夏ヲ評シケレハ夫モラハ館いて他 愛深レトスプ間トヒトレク怒ニ顔を愛り取モサクレ 其方ノ先夫財殿ノ妻丁ノ今ノ妻ニハーチアリナ一衆サラ電 シク契りブー男子ラ産シテケリ先妻或日表ラ見レ 作 先 之三·

出了舟岡山三到り水食ラかとうだっ死ニリ死丁にな ラ愛スル夏ノド情で比然そう思にシラセント家ラ走り 女人君に夫ラ大切三思フョリ酸ルモノラ我ラ葉テ外ノ テ此難り遊レンヤト問八獲湯柳巻テ日是レ八発る 我身ノ館トナフント物ロシク震陽師ノ許三行き如何シ ハ人モ通ハサリケルだい我ヲ能え死タルモノナレハル 龍根大鳥七食公成七爛レス髪七落子ス常ノ如クナ ノ死骸誰し葬んいモイナと人日の歴テ其体ミナアりとこ してい見い人思していてもじこモテハヤンテルノを夜 了く所なう徘徊ないとう皆人恐し丁其邊りへ夜三人

場所に

惟雅之三…

三百万遍三至り上人三對顔之作自ラ物語リス命ックく 夏ナド如何セント家シケルガ無テ師ノ高徳ラ聞シラ八直 ラ見い三世ロシク陰陽師が教ラナス夏思モヨラス及難キ 情死骸/七ト·行手其死骸三馬乘り三來り大手三髪 タル大夏ナリ我力教ノ如り成心給い道し玉いしたワ今 へし死骸モ解ケ、髪モ落ケ白骨トナラハ成佛セリト思へし ソンラス乗り居玉へトる怖やしちラモ舟岡三至り其死骸 スレハ大夏ナリカクシナをノ明ルラ特タで、明ケナハ我行い 了老テルノ松文ラ唱、動力に起に其。髪ラケスへガラス放 ト聴給して放子思り心夏加し我是ラ四向し得脱せしい

難キラミアフスで 逆す合う授ケ還ラセエス其後何ノ然モナカリシトナン有 落ケニケリガクテ是ラ火勢セョトノ五に大并三後妻一子 其上三何夏ノ禍り是し有ラと其女ノ死セル日限ラまし 上同音三念佛四的之五八眼前一死散自然上肉解發七 死骸ノ背三清水ラツテ名号ラ書キナ念ラ投與之諸宗 既三十八月刊極タリンニ上人行問山三至り終した彼り 幡随院建立人夏 三世 大学

盛ナリ爱ミライテ其道徳ラ豪徐に東武三松テ、近キ

慶長九甲辰年師京都長德山百万編三在七天化事悠久

云型テ化シ去り文師夜明丁堂ノ戍亥ノ解ノ所三 三人必人随從シテ火火火ノ難力寺心心又師人心事之家 堂人成美ノ方フ糖シメ五八清泉涌出へら又師ノ聖人所 り名等ラ信スル事アうこ、我水火難ラ猫フへとし 電がノ不思識ラム大電宮ヨリ水ラ棒ケ奉ルへい明日本 甚么高シテ水ダン文此邊り八火火人思い多手所力以我 関成就又或夜一菩薩来臨シテロ我レハ王譽妙竜ナルル地 考文白銀十貫目ラ城ノスカサ子 テ未三百使ラ城小、作 所ナリニ駅と一字ラ常建有天神田山新知思寺衛随院上 三住セレメン夏只思召爾上招請在テ地ラ神田ノ臺河勢 

市公里沙意化益う家リンは限してい此日ラ選ンテル #丁每年二月四日了夜開山思ノ趣夜ナレ公本堂ノ上、虚 與人此時今人地三電水面出入神田ノ古地ノ水乾丰又其 四禄七り、評議ニョッテ、寺ラ下谷三移して也貴考上人中 月活會ラ宮ムトナン其後大世無寒上人代ニイカナンシマ 一年ヨリ黒雲巻上リア、寺内三車脚ノ南ラ路とテ人義ラ 井ラ松ラシメモノ三機三三尺部リモ独ケル三情泉浦 ク是ラ見い向月八正月五日七七天冬安君ノ大教在山り時節 空三思要養来テ製中二竜燈供シケル通夜ノ諸人祭 出心夏縣心是ラ竜水上名久若火災ノ夏ア人比意水

寺トデセンス下谷ノ地三教リショル改テ備随院上呼すり 碑 う建了莊嚴山、新衛水上於神田二有りと時八新智 古井ノ跡ハクミアレモ水ハー南モアルコトナン、是上寒ニ不思 建立了大知思院大僧正称學上人當院在住了時電水人石 議一至了人當今人本堂 完禄年中十四世嚴魯上人人 

ナガダーだメガタケン人でですシテモョとナントテ、東デラ 或大名う物許三在りとな房形を美麗ニシテ、色好すりと 人人名三遣り華テケル其後我身八乳母トナイケにラ (なり)人三愛セラレテ、「チラ産ケレ氏なョリ誰レタル 名号ラ新り乳り出し夏

帰依い念佛修行七り或日神田ノ御寺へ話テポリケルホト 暮したルカ中年食リョリックく其身ノ無常ラ新さ 人ニイナアン妻トナリ他的へ往ント約束シ候ニチニ人持テ 問フラダをテサレハお年ト今年とろう人ノ子ラ持デ候三去し 三位り奉るい乳母五寄で如何ナル良三元ガク悲くエフソト 三日モ早や幕方ニナリケルなル三直ノ邊リニるキ女ノ我リ へ未来ノ段ロレキ夏ラガラ菩提ノ志シ發り、備随上人 在クイキモ如何ナレハー人ハ拾いや上思に定と是で元参り 背子思に出して家レニ思し、九ア六一人子我三得サビ フレモ、何レノチラ捨てキャト悲シクブト云へい焼い我身り

徳有難す夏ニナンアリケル テエハレト、合シケレハ子産テョリニナ余年三成ル乳ノ設盛 ナル時人了人張り不思了様三此紀 了養了一誠三名号ノ功 ラ念シテ期給へ我急悲心ラ發シテ、養フチナリ乳ラ出る へ十方便モナグアラリセンガタナラテ上人ヨリ駅かりました名号 ケレト乳ナケンハ唯独キ西グノミナリ、食シケンハ乳母ラ電ク 入了するなり、器に取り送りテ核子我張ラス乳ラ吸いセ 至へ養育セントるへい若十女イト嬉シクモノエフトラ、一 帽鄉然!!!

前像ラ彫刻を玉了夏

風味登城シモ下城ノオリカラ、庫裏門ノ前三往苦ョリ、

有り来に枝葉茂りまし大水ノ櫻水有シス、倒したプ見玉と 大が何 花夏三代リタレヤト、孝玉ノニ出人ノ障リアル故三代 テ新トナスすりとろり、何怒ラスル极水八當寺開基セサ ル音三八有りし所ノ有縁ノ木ナリ、佛意見三然るハ草木國土 悉皆成佛ナン、是ライル、軽が罪力、サ大和歌三七 トアり山村ノ竹木是ョリ、以後い家れすりはい、カラスト、ボン 像成就でり、開眼供養セントケ、佛前三安置して、樊香之竹覧 テ即子佛ユラ召して此本ラッテ师ノ像ラ朝でら、既三功成 ラ指シテ打ツ夏三度シテ幡随意ヤ々ト、三聲喚正了三本像 深山木ラガラス刻で又具で三年とい直三佛ナリケリ

ニ何ソかんてき時六無言ニシテ歩ムハ水動六非ストテステラ取 他ラ以テ破却し玉に又又彫り又碎十三度三及して、怖工上共 テ怒三两段トス今又此像無言了、是我像三非ストラ、怨子野 二自ラチラかへ歌日ニシテ一像成就人师又被ラ以テ打和 時二师是上我力真影了以遊代与化益又一千十万十天堂三納了 +、幅値やマト 野玉にケ人、愛こ在りトテ、立丁地ラ前~玉人、 明五十學五八像立一步之行之夏八步了人時三萬雙我ヨリ外 元ヨり無言しい何云覺毀門間梨八不動う馬到しテ明王 瑞ノ夏多し又自ラ鏡三向に像う寫と手ツカラ彫刻と玉 玉フコレニ依テ對言ノ伊影ト名と、今開山堂二安置し、奇

シテネスト三見、ストる、何モ後ヨリ到り見玉フと華龍ラ帯 了像在シテ鏡ノ神影上名大其長坐像四寸分りナル有り、 路室ナト見迎じて三秋濁ラ打消し暗三十七三盗人二的と フレビア君タリケリ、カクテ人々外ラサカシボメントで本堂 テョク教子ョル方三八居に夏ナント、高衛三宣八盛人八分 た道三隔/見て大概獨ラモン子見正丁三疑モ丁方盗賊ナ 共三神田山三多置スルノ霊像ナリ り、彼力心ニをコソラントレカルラント、マト盗人ノ上三腰ラ神 師神田山三在ス時、成夜土藏三盗人へひトテ、昔人史ラ燈 盗賊ラ教化シエフ夏

三 電話三暮して八或夜盗賊忍入了家財ラ季 其愛はアきノ御二年来教業ラ宮ミテ家業ととに強人 アル北者師人数化ラ家り、御名号ラ授リテ、常二信仰也」 テ罪了職物心師ノ教誠 ラ家リ三人共三出家心·西東修 テ放子王八三人共三处去了心五日程過テ、被ノ盗賊本堂三話 テ、师ノ脇ニンテナ出、策項ノ間ノ方ニ連レ往テ、ダスクラリ 我身ノ脚ニンナテ出す不便ナレンシナント思フソトノ玉 カトル思ラナセン見むも安穏する人表表亦地教三直メント 行者よう、生涯悪ナウ本意ノ柱生ラ変ケリ 師ノ名号福師ノ身代三立三丁夏

殺シケル奴僕目覚テ起命た本二盗人、ウンウ沙失ケ アンでなすう立てい盗人怒テ班ラ取テ心下ラ指通シェグリ トテ主了能最入夕に脚ノ上三来出り財宝ラ出七ト費ケル主 七八不思議三思上歌テ信人心念佛ノ功徳里八神名号ノ利 り主起出ケ思ととない正とりか三貫力レン三身三切を死す 銘之歌ヨ教名不退ノ行者トナリテ目出度往生与逐步 血能ノかり三流レ出い燈ヲ挑ケ能拜るハ神名号ノ 怪でナカ大佛理ノ神谷号ノアラ開キケンハ中ヨリ赤キ 生すっと、急き佛間ラリ見レハ血煙立テ腥ショハイアニト 門ノ守ノ所ニケ所な就アリケ、血ノ涌出ルナリ、信心肝三

断矣,之三

殿ノ男子ラ音を始二多養ラ盡ス二日ノ程タニモをク 朝夕月明七支難ケン八道ニアラス夏ナレ氏雷々八两国 江戸石町トるへい所に極くす食も干婦アリ大三核しケニ ノ宝物トナリケララ奇端多と、解テ信スへし ル其名号う名ツケテ、身代ノ名号ト云同門西信寺第一 和日被天大僧正人名号、本田中野大輔家臣蜂須加四科 家秦水難,身代三五十五丁夏夏殿往生傳等三具 在り、誠三横難横病横死人災難で心夏ナシト、奇がし哉 也其名号本田家、塚秋十氏二武江福天寺、宝藏三 捨子う給に玉に其子出世ノ夏

身う捨い例パナントカヤ、城二孝養センタと二、一歳ノ男子ラ り後り大常二信仰とお流石ノ同意を中心方方悲二餘一 紀ハヤラン方でときシケンドド部センモ子ラ格ル酸ハアレモ、 ノ松純ガタケンス実一下古歌二身一増ルモノナカリケリ嬰 厦上野八選テ代身モ孫モ如何と、是非々々止てり玉八十割ス ラ知り下海悲え、夜ナ夜ナ人ノ為三身ラ街で者心思病三至多 两團人橋記三指三方此婦如少時上人人名号了母目 い一度也了言之便すり後もり洗濯ナト、タラキモ及難り、則智 幼子ラ養い腹を隠スト思へにあ夜ノ夏ナレハ苑此ラ ノ邊リニ五テ、往来ノ人ノ袖ラ引ラ身ラ曹リガラ育三 一个多天。

僧養之五

きナイカニモ早久死度思へに宿業ニ引して、長生シテ直 置シナリ頓テ帰り申サント係り七八姓此ラ聞テ我で い心必及類ミ奉ルト、治十口説テ、我家三帰りない其夜八霄日 テ彼名号ライナノ橋三掛せぐかと八我身ラ守り玉へに今ヨリ アりたカ懐ロ淋シケス情ラート頼メルマ、シンカホト情シ ス孫ラハ何地へかりニケン、此程ハ久こり見モヤラス如何怪と 後八台に、三ハアラチに、彼し是し上台デザラ養育ス或時站 八此子ラ護り玉心牛等三七路殺サレス家レ人二七成シア給 上勢をしいせいトラ切き者八比程同年ノ切キラ失ししせり リ魔シスチノラノを繋シ思しで目を取ラスを明シケル、真

青ラ教化ラ家リネランシーテ、神田山ニソ語テケに即師 三世ラ歌に洋ニラが水シケケ文師ノ心導盛ンナリケレ 此婆ラ音ン為二、如何でとれていれい許ナントテ、無端 安ノー子三離し嫁り養育三頭とうい悲シケレー人ノ孫 ノ前三元中したいシカくノラアリア、我孫ノ見つサルハ家 生之線ノ苦勞三預ル夏如何た同果三候ヤラント老 为真实了孝養三孫之他人三預ケテ我ラ育之候方必完 ツクく思に當心受アリ、汝力孫ノアリカラ知しり、孫ニ 聲出シテ注ないが正哀二思召種々教化シエヒテ我 フ思ハソトロニ想シグ身ノ置所方人候前世ノ報と三大長 sta . 1. 1

子電なんといいと上屋にケンハガハ大摩上テ投い今色に一他 種那三年来一子ナキララ、勢り者アレハ是幹ト思し 三震音せりが二預ケ置タリト黎カ云シハ比名号ニコン酒 物モスケナケリをりずりアナラテノエヘル、我レル原两國ノ橋人成 ラ通りと打捨アリン子ラ見い、我名号ラ首三掛かせケ 値度八個人こと大心連教レト直八良警有六連来 ヨリア、我親上成了與くなど一夫婦共二大二悦に弱り大夏 ルス思フニ我三縁アル者すり、懐キ抱つテ帰りなが、後代 ラ着セ、北人手代付後に来りケレンゴハイガニトアキレンテ しり能々見しく我力孫方、語三八引替テ美ケンを表

テ帰りた、其養子親是ラ間テ孝心ノ事キラ感シテ、 ノ如ク、未来モ猶ラ類好子上歡喜ノ派上難ノアン科ミ 預な置か下思とし、思愛人子ラ拾テ、今日明日トモ知フス 其母ノチナラハルデモ至孝ノモノナラント書に色々ノ送り 御名号ノ功徳三天眼前孫ガ五射ラ見ル返えくモ師ノ御恩 老ノ身ラを養せし夏其アデナが何三衛フ、キ、然ル二师ノ 物ナトシケレ氏姑娘氏三智愛人姑八幾程ナク正念三往生 テスシャー子二位と師ノ神名号ノ利生三大現在語ラ斯 り新上部し八家王奪手悦テ枚个急手師一十二多り別 何少以刀報之奉心十十天三郎十地二代之子大三化亡家三段 番名い

其後養子親王就可信心際久念佛人行者上方被人子モ 之念佛聖田ノ行者三天是モ臨終正念三往生遂ケ三ケリン。嫁八妻オロン大师ノ斧子上成り大法名が清光五九十号 合佛修行之家モ富菜へかり 三及ごとより言した、町シテ見レハ無端すんせやト、幾度 慶長十三原中年師之成六十七武藏國熊谷是遵生法 何八遺跡ラ前ント大法系意天和尚又随身ン玉フ日喜六 アクリカことくるたろ、何意天二向テ今女ノるん夏其 11日本小川二宿シ玉ス主ン八後家ナーケルの其夜三要 武品板橋為總司教化三五万夏

ラ知しい、意天ノ日ク我思了二被八色愛ノ道二述と行 ルナーテーで一首ラ新シテ 下师人日全夕也情三アラス比婦八定丁一子 ラ先達了、思愛ノ 前二来テ小兒ノ特趣シ風車ラ出ンラスケルへだり一部之子人被人婦次人間三在テ密二是ラ聞テ順テ師 悲三値へいすり上がモ又動ナシ 我感い結べト帯ノユルマリテ 町シテ見しい無端ナノゼヤ 稚子力砂見三孩人風車 四シテ見い路端ナノゼヤ

だレガタで上丁三歳三成ル男子ラ春に京へ頼母教思

当えて

アルガクボノ悲願三来シラ、住生ラ遊ケ、一佛净工人等等 持し一比程終三生な成りと支限り無力語の持いでこ 問見コファヤマ化ニ侍し人ノ親ノ心ハ間ニアフサモ子ラ思 佛陀三飯依スプレトテ、腹テ被ノ風車ラ取テ、是ラ見ヨトラ 老達了松二強心熱力恨山難々七前後相違ノ無常八道經無二後子思じ人大力胸二無し又白居易七代子少 突回ングロンで見せまして道輪町ノアリセハ比南回ルカル フ道ニマトヒスル哉トないが何で表と三思され子サイ し難し必意シテ教テ婦ル子八知識上思ら悟りテクョリン 風車プルンテ見責えがラモレメント思ア三个八比

待へいたで頃三教化シ玉八事婦合掌い師ノ教化ニテ 荒しるでとる一年一年間然上又居玉心力尚七念比。 子今得能住上十八十五九十見一一您明腹心鳥一聲三住 向シテ三出手 和日此段宗教四國物語三相似り被書三宗被四國 り過去り出了夜々奇怪ノ夏好シトラ、住人モ無りケ 部諸連歌宗西ときて着すりない三其点者死テョ 時被しんべるアリケルラ野玉八傍人是しい背い

ラ聞え 町修行分心ララ 試ン為ナリトテ、其人衣

い記無又上替了宗秘是ラ間テ、桜七耳寄ナル夏

良有テ大学人下榜ラ打着テ祖科紙ラ真中こ 置了だ右三列座スレハ手頃七十計九一禪門一幹シ イツ間ラハ竜モ結構二常ノ人ノ住ナセル射三見へて キテ出シが領テ上段ノ床ノ解二敷物シカセ坐シテ 彼養三柱テ宿シ玉了が少眼上覚子、信りう見レハ てっこっ村、トンかってんをハットラア、路路つテ タル老人が徳ノな平我織う者大頭中二鐘太校ろ 今一度時ンエートスケンハ其時神門 ストキノヤー 理時付ントのハ付タルヤト勢もハよ座人手ラッキ 曹有テ列産ノ人をラガ酸を八人々 崇敬甚ら其時 常老さ三

一人王無し又本人被しるを着してしり其時宗秘調う ナリ又或書三前下女川二出テ洗耀シケル二其中三 文八禪門何上·問丁宗被高聲三 池沼ノ茂十方 心ノ射ラ成テ、智消失又其後八重テ出サリケル ヨリ野三成リテト付ケン、禪門モ人々も暫人感 リナン、確門吟シ果ラスか二宗被大音三元付テ侍レト 第子上覚えて、彼人難題ノ宗西モ句ラ得スシテ、一生 少粉一种門上見了公然者三方首人完正丁人人人人其 ノ苦シテ、家期をモ思るテ、死セショリ、動迷し侍し す、我此句ラ付テ助ケントラ文一宿シテ試い三前ノ如

今然ニテ、馬呼嬉ヤースショル後ハ出サリキトスへり 世ラ歌フモノカハトトノ句ラ付ケ八半天上覚シキ テ出て、幽灵上人句ラ野シケルラ彼信庭三水モ為 上テ或夜後川端三至テ、待居たカ州川刻限選び入 古手表了りた一大院フトテ黒北落テ川水一面三 三彼川端三半是上成大姿八見入及聲計リシテ、今 里いりすってい何いナク ツカサーケン、苦ミニシテ病ニ即シテ死ケー、其後夜毎 句ラ吟して大或僧コレラ聞テ、我送ラ解テ助ン ト旬作りシス下ノ句出むハサーくのラスでとし 墨深之流八波モ衣着

ラガス無官人大教題我子」直家上日年九ラ害ン 了然容必即直實同一子直家先登了懸六日本第一了 由八元曆元年根州一谷人合戦二期手人大將源義經三從 大三中シテ城ラ被ル父真實息受ノ道ヨリガテ也無意 随者下名求テ相義一子直家十六成松テ戦場ラ路、敵人 慶長十三歲班年或認天正十二常被終各是連生法師为遺跡了 説具為学人被療セルス造営シモスが此手不断念佛ノえ 飲物と支三七思ラ殿シ看スルハヨカラス夏すり、是レラ 思フニト久本願う信しみだう念セハ可すて 武藏國然谷寺ラ造建シ五了夏

帽老 表三

夢ラ感ゼン夏寶三希有三七有難き行者三テ大师モ 力如久下八品ノ往生ラ願公人上品上生ノ誓とラ支ラス 三有元念佛人安心受走也心夏大师人都傳三具三載心 提了為念佛開聯也以上有り蓮生法师圆光大师一座下 又改柳能谷三選り、草港ラ特に敦盛ノ菩提ノ考ニトテ 奉り上京シテ上人の多子と成り、連生と名ツケ、その入道とり、 念佛開闢也以改三被寺一石碑三三無官人太夫敦盛 菩 厚るりないた比較功をは大熊な人本領ラ場りケルニク我身三夕之人其双親人悲しう夏ラ前小也とう歌りたこう 下權守直光與於上頭多相論之是十八將軍賴朝之限之

此外諸人一知心心歌多之建我元年九月四日往生人日 東へ下ル時馬ニモサカサマニ来リテ 限力知り村岡人市二高礼司立文遠近三觸元、請人知 常三思召出シテ坂東ノ阿弥陀ホトケトノ、御ラしてい ナル連注高野山三居テ 極樂三門ノモノトヤ沙太スラン西三向とテ後口見せ子 古了鎧三替ル紙子三八風り射ル大王通うすりす

音樂影解外里香茶郁之大地震動七小其湯 番祭と

息止てい時三はヨリカ六尺ノ光ラ放子流雲襲建シテ

ラン人端坐人と学し高聲念佛徹盛こして、念佛上共三

權雅光三

瑞光先人如心實三上也品往生人人了、故三师其德司墓 連綿上ン六五日八卯八起三至心八日入棺一時亦異香音樂 五上佛殿在三葵一柳紋柳彩寺領五十石金襴人袋 此人寺三在人時心尊ラ家ラサル者ハナン蓮生法師ノ極 念佛結縁シテ又養ラ轉シテ精舎トン、熊谷寺上号と 娑ヲ賜フ 樂り、再来シエフト崇敬シケルサルホト二比地三来臨シ 師三婦シテ常三念佛解ル夏ナン家有リア久松上名以 化導音キ中三能谷邑二人三即ト云心者アリ 思思ラ降伏シ思人ラ助給フラ

聞夏う思嫌に二人ノチノ师二般依シス念佛中ス 大種々思い非務ラナス故三子共也々ト、善巧方便ス ラ現シテ死シケリズ三郎急干能谷寺三至り師ノ レに柳テ嗅悉強盛三成リア面色爱シテ佐然如何に ノ泡ラやいて頭八倒シア、身心悶へ渡し鬼神阿亀ノ相 日前ヨリ熱心心虚空ラガマ目ラ見張いヨリ黄色 詮方ナン然ルニ酸に既三七旬三浦テ大病三取レ命終七 ク同师三般シテ、御分子下成り、知要下秋ス寺第二世十り 理リラかえの路後無道ニンテ常三三宝ノ名ラタニ 要三府高セリ其のも多の見放逸三シテ的テ同果ノの問とシテかり

五遊ノ罪人タリに、豊か陀深重ノ誓願ガラ以テ助ケスシテ 得スなスな等鬼歌り徒う放タルン被ハ自業自得 置へキャ、我かれい苦人ラ先トセス、思人ラ先トレラ、教 物レト云師云彼八極重ノ思人ナレ氏我三深キ同様ア八設と 報也其思像と人他人亀盤してい命以入引事明的スルラ 奪し取此心師縁有心三使人是ラ品と玉い我取心夏ラ ツテ云智要力兄久三月母命終ス比老嫗八生造罪ノ思 人丁片、冥宮我ラ遣シテ、遊獄センと、改三我レ彼万酸ラ 静二念佛心暫り寝玉丁二者就二思忽然上現心表 引導ラ願いここ此義ヲ相党へ其夜獨り禅机三寄り

三當り、开凿三枚ラ落セリ流い血滝ノ如久二思に三動 ラ母ン次等公弟六天ノ魔民ナラン、我速三降伏スへと 十得スシア海居ケ小其時師我しま代相應ノ外吃本願 して念珠ラ持了船掛り投付玉八其念珠一思ノロ中 三七其發換ラ残し置つい 宣八然かずんカリリテ 板 玉へい然いは後い師と引導を玉八七者并二师ノ名号 い為了本願了、我レ是ヲ引導セン二誰カ障碍スル喜 安置ノ家ニス我等鬼越ラ放タルモ来テ障礙スプ ス家ミラ聖テ許シエト申していが中々ノ夏ナリ、何 ノ名ランショラス何ソ障機ラナナンヤト様や二責く

月死人三成名りが背信女上付テ、引導し至了、自テ障礙 問三判形ノ如デノモノ書きたと是證地ナリト云其時許 谷寺ノ住宝上ナリル形ノ判モ今彼寺ノ具宝ナリ师名号 ナン久三郎大三感心シ六师ノ御弟子上成り出家之住 スト宣八二思小您消失スト、見五レラ夢ハサメニケリ故思 り、故三師ノ名号ノ有心所三鬼類骨テ人り乱夏能八人 ナーボッカニフニ右ノカノ黒キルキハ熊野権現J り授り王フ印點ナリ又右ノ細キ形八被思ノ心形ノ判ナ 空田園ラ格テーキーン、情能山久三改い寺ト号シテ郎子 熊谷寺ノ未院してり、彼と思ノ牙歯い長七寸余今三法

體學學等

或時人三中氏機少数中二於テ、宗門ノ後秀ノ僧ラ選集 テ難易二道ノ對論ラ武玉ス師ハ第二座三當テ問答若于三 シテ、詞弁流水ノガン、敵者終二無伏ス哉三其月ノ法問中等 了人推了我龍下棚又心夏比に希ナル製品レニテ古今獨多り 人上聞う一端坐耳ラモソノテ聞殿中ノ面で称美ゼスト云夏 法論ノ勝利ラ得テ称美ピラレエフ夏

龍水名号請兩現證人事

りを安ナフスヤ

俊才ナリカク智道部備ノ高徳ナレいとト

ノ神帰依落カネ

雅雅 表共

言語ラント元両官へ歩きラ選に裁り祈りよってとして、一 大鼓了、了多新し氏更三颗モア了かいホト打續了早成三 八次等三枯萎見い目モ哀と三勢力して心然ら村でヨリ太か かりとうで大村々人民神ランくノ願ラナン昼夜ノ別ナラ しりカタテハ命モ港フカリケンハスや心ラ合セテ雨語 来がから就中等ラボルテ不思議ノ利益ラ池と至了幾度ト 云了教ラ知ラス爰三寶曆二年至申 人夏大三旱シ五穀熟ス アラタナルー教育でからに他スルカかり里人是ラヤン丁は身か 村民甚る思ところへり水ラ橋フモカスキテ、今八人民王病 致於白子於南山悟具等三階簡息上人龍水名号了,其歌

天聖時子數十日台子整夜之十人學为如心民力尽千一個然多 龍水名三和願セン例でい此上八後寺三願と持ラントテ、東ク 親リテカカル取ナレン北、程ノ村民人苦しく見いころに難ケレン 黙黙ら打ウナツキ柳富寺龍水ノ名号奇特儿民験マシマス り、古老り徒語で目首ヨリカ、レ大早寒と節三、悟真寺ノけ宝 ノ地頭ノ石司二部へ悟真寺ニカクト告ケレハ時ノ住職都巻上人 疾をそれリウナサント思へ上其事嚴重三メ軽やと力成へ十二 心率親被う造り演びキュ列于中央三龍水名号ラ本等ト 邊三大九假屋水門七箇日ラ刻上と前三八大龍王ラ都請 アラテラ三連引せり此上ハイヤー用意アルへいてる日神日海

路 张山 一

龍灣 沙川

数十里小海過行今三十七日以作物八妻令書や上春之春 寺三至子帰り相続もテ一念佛ヲ修せってく南イマで盛三え りと成ら海上風花の一群ノ黒雲赤り、窓ケー天力千襲り大雨 リキノ正中ヨリ典行セランセルカ末ノ下到三至り百万遍王学ナ リスタタ・スレニスレケンが角デスけハントア法座ラ退きに長 愛下上海三車軸がかりて八横手上南三假屋一中、灯燭モン ン、香火ラ辨備と供物を葬りを三八百万遍ノ大念珠ラ置園山 幾串七取り来り、手を指りった出るとき天三七響りくかりナ 以百万遍ノ合佛ラ修行セラル村やヨり聚ル人々同レク大教珠 大殿十餘人嚴三出立了都管上人尊师了成心法事人式嚴然上

三村七大人行力名号ノ不可思議で一時人感激日子累子テ ノガラ死タレ人、一蘇生シ、樹木二花ラ生スルニ似タリ、枝三歌に野 幸ナリ夫我國八神國有神三新リア験ナナ八公人深キ東由了 (アラス先三新リナ雨降リン、我事) 徳母ノシアンを方民ノ大 験シナカケングモヤイノランヤンモナレス龍水ノ名号と省一 サメキ渡いラ彩ンガクテン五日十月八経ニケルカスモ南路ラサ 同三帰真寺三語メガケダうよ人カノイ聞きましやこ子く再と新ル タアキレテ胸スカカイズモヤッラー催してよす三神を三高いた ン幹カ人カノ及了取けると偶サキミ利益ラナンニハトテ、再に是 一数句言及とてい田島ノ熊ケ親ケダル丁前ノ早三要でラスト

"?"下,"啊"

帽和沙兰

檀放共三被心佛法ノ致草丁小比般人早販常事ニアラスをン 北大治シ谷と村口で成人雨降了七時八先日人大切モ 計十 了上す。 花人ノ明ラ招之し其明リハ我身によっこアラス大衆 越了、城罪生善了乳藥ラ先務上心現也祈禱ラ動上スルニ 重と其寺が梅ラ響クラ住職ノ動メース當寺い数多ノ外護ノ程 三ろと人ノ オラナサスハ法ラ信いまてい 似ターと、前頭と奉ルーでん 方方申スミン上入重子丁大九了大利三住持人心身八飲了佛法ラ 三首に玉分かれていかずの病父慈大悲ニテスル苦思ラ教に 度摩レハンフタット、慎シンプ等ムへと聴き了数新ルスカラストでい ラオランでの東威ラ繋をタスト云青、松湯をモインスや佛ノ面モ三

いかラストアレハ各道理三伏ストイへ圧先三眼前ノ見證づ見 テスモヤ若シム学ナレン君ナカラ枯ル、ラ見ショリハ非理三頭 雨降、辛級アラハ我し祈ラスに佛神何り借き玉いヤミ子祇 檀那打寄り許議メ日諸人人製土默止カタン神苦労ナカラ に奉ルトラ去デン系色ハナカリケリ塔頭申シケルハ角、テ人や 懇望人次等檀中へモが外心中スシーテ順テ其由告かん! ルーナン同シク顔と奉ルーアリケン、方文ツクく悪頭シラモ 再上ノ新リラ成シ諸人ノ心ラ状メエヘカン降ルト降ラストハチ いたでシェスノ戦辱ミアノスハ寺三難ナン塔頭檀那梅ラ受 ノ時たくし佛神をモ是ラか何しモシエハサレハ上人ノ北唇と

精誠ラテン声限りは限り上朝にう暑大ろし精力い 渡い流い行いたかの他子表ラ侵入了八以前と明ヨり甚る し渡立きがり屋り見つかいるやト人を月ト月ラ見合と 念郷スルンヨサマシカリレフモナリカラナ申ノ刻いカリニ海上少 是三取り付きエイヤーラニテ油モ山モ崩ルハガリ大音声ラ 大思でも非理三和ルだしいう一人力三般いる方人心ラ 通う行い至了榜り人々稲麻竹、草ノ如り、今人教珠モ及フへ しなしと一方前しかつ塩ランツでと三日ラ展リトン正日中三百万 2モアラハ大下細引ラ幾箇モッナー合セナ大数珠三代 一ツラスガランスシャンと檀中ノンラ探りしてリイティ用意で

ケレに空八次第三晴レイナテ、雨降ルケンキハナカーでに三百万面 ケ少で三其日モ暮ケンハ人を渡しテ即ターと変半ノエボに雷電 シ暴風サット吹キワタの大雨類り三震なり麻ラ五ないかりナン 者や目せいと起上り扨々不思議り法力哉し悦してい声力が 野七山七響千口久り、陸道意上人的如果上過柳久上了吾海 三程リタル牧ラ失フタかり、物ラモインスヨヤイト家路ニョッハ帰り 部カニ合佛シカタイ本意ナク思了一切し折し限り八三日 ラ約ちり、今日八が了一日ナリ明日明後又村ルへし先少寺三帰 八備数三元の大路ウスツキテ其日ノ動メハ果タリトラ南師ハ リントアスコイト至子至へい山人大教ハガナ人近郷ノ村民ハキ

其書三別すりと人り親シク粉語りセンラ関ケり マモないてシトハテハ御礼ノ踊る成シ踊躍敏喜ノアリサンハ此世ス 事ノミテラス八宗九宗老者男女此度ノ悦上八生之世

**略随意上人豬國行化傳卷云於** 



